

頑張れ店長

スポーツしてますか

スポーツは学生時代だけのものではありません。健康の維持、地域や職場での交流、ストレス解消、メタボ対策、さらに2020年の東京五輪を盛り上げるためにもスポーツが奨励されています。どんなスポーツをしているのか、各地の店長さんたちに聞きました。

時間工夫し全員で卓球

「学生時代は卓球同好会で楽しんでいました。いまの店に赴任したとき2階の倉庫の一角に卓球台を置いて、休憩時間に若いスタッフを誘って遊んでいます。それだけでは面白くないので、年に2回、スタッフ全員が参加するトーナメント戦を始めました。

全員が集まる時間はないので、トーナメント表に沿って時間の都合が合った者同士で試合をして勝敗を書き込んでいく方式で進行します。対戦者同士の都合がつか

いことが多く、優勝が決まるまで1か月かかることもざらです。

私が出て優勝するのも大人気ないので、もっぱら審判を務めています。優勝者には私のポケットマネーから金一封を出しています。全員参加なのでけっこう盛り上がり、トーナメント戦のために練習に精を出す者もいます」（関東・A店長）

時間も場所もさほど必要ない卓球は、誰もが楽しめる手軽なスポーツですね。

テニスで世界が広がる

「中学生の頃からテニスをやっていて、いまでは地元のテニスサークルに入っています。休みの平日に妻と一緒にサークル仲間とコートを借りて打っています。平日なのでご婦人方やリタイア後の男性が多く、私知らない世界の話を聞かせてもらっています。私の仕

事がホール店長だとわかると興味を示しているいろいろ聞かれ、私が店内での面白話や業界の裏話をする盛りが上がってくれます。テニスのおかげで休日は気分転換できてリフレッシュするので、やっていた良かったと思います」（中部・B店長）

平日だと市営のテニスコートが空いているので、B店長は「休みが平日でよかった」と言いますが、次のように週末に休めないつらさを嘆く店長さんもいます。

週末休めない、恨みが

「高校では甲子園を目指して野球をやっていたが、残念ながら夢はかないままでした。それでいまはリトルリーグで頑張っている息子を応援しています。本日はコーチを買って出て週末ごとの練習や

体外試合に参加したいのですが、店長の私が書き入れ時の週末に休むわけにはいきません。

週末に休めないことを恨みましたが、本気で転職を考えたこと

店長からの投稿

うちの会社では店長も採用面接を受け持ちます。

適正を見る1次面接ですが、事前に人事部から

質問してはいけない事項を言い渡されました。それが、本籍や出生地に関する事、家族に関する事、宗教や支持

政党、購読新聞や愛読書に関する事などなど実に多いのです。

「それなら何を聞けばいいんだ!」という感じですが、厚生労働省は基

本的人権を尊重するために業務に必要でないことを採用の条件にしてはいけないと指導しているのだそうです。最初は戸惑いましたが、考えてみれば人はあれこれ詮索されたくないことがあります。以来、職場でも部下に対して不用意な質問をしないように気をつけています。（関東・店長）

聞けないことが多すぎる面接担当でも考えてみれば

「社長がゴルフ好き

コンペ入賞までに3年

もありましたが、グッとこらえました。それで週末は私の代わりに妻が出て子どもたちの世話をしています」（関東・C店長）

ちなみに試合の日、C店長はこっそり店を抜け出して見に行ったことがあるそうです。

なので、店長クラスは月に1回、ゴルフコンペに招集されます。スタートは午前10時なので助かりますが、その日は1日ばかり。費用は会社持ちで、成績に応じて旅行券やギフトカタログなどの賞品が出ます。

私が店長になったとき、ゴルフコンペがあるというので、ゴルフ雑誌を読んだり、打ちっ放しの練習場に通って備えましたが、結果はさんざんでした。それから3年、ざりざりで入賞するまでになりました。ゴルフコンペの狙いは親睦で、会社幹部や店長同士が仕事を離れて腕前を競い合えば自然にうち解けます」（中部・D店長）

ゴルフが大好きな人には羨ましい話です。

一家で白銀の世界の魅力

「一番好きなスポーツはスキーです。妻とはスキーで知り合ったこともあり、毎年シーズンになると一家でスキー旅行に出かけます。一人息子は幼稚園なので平日に2泊するので、空いているゲレンデで思いっきり滑れます。」

子どもが生まれる前ですが、調子にのって無茶したら脚を骨折し

てしまいました。そのときは完治するまで妻に車で送り迎えしてもらって出社しました。それでも真っ白いゲレンデを滑降する爽快感は何物にもかえがたく、1シーズンで3回はスキー旅行に行っています」（関東・E店長）

E店長の心配は、息子が小学生になるとスキー旅行で休ませるわけにはいかず、どう算段したらいいか頭を悩ませているそうです。

プロ野球の応援で発散

「高校まで野球をやっていたので草野球をやりたいのですが、週末は休みが取れずに諦めました。その代わりとっては何ですが、お気に入りのプロ野球チームの応援団に加えてもらい、休みの日は球場に足を運んで応援しながら野球観戦を楽しんでいます。大声を出したり、旗を振ったりしているとストレスが吹き飛び、よーし、自分も頑張ろうという気になれます」（中部・F店長）

野球をやりたいくても週末に時間を取れないからできない——そんな人は多いでしょう。エネルギーを持って余した人が多いから、応援が盛り上がるのかもしれない。

息子は相手にしてくれず

「高校ではサッカー部、大学ではサッカー部でレギュラーになれないのがわかっていたので同好会でボールを蹴っていました。社会人になると、やる機会はすっかりなくなりしました。息子が小さいときは私が休みの日に球技ができる公園に行つてサッカーボールで遊んでいましたが、その息子は中学でサッカー部に入っていて、私と遊んでくれません。仕方なくテレビ観戦を楽しんでいます。試合が行われる週末は仕事で忙しいので録画しています。帰宅し

てから深夜、遅い晩酌をしながら一人で声援を送っています」（関東・G店長）

どのスポーツもそうでしょうが、自分でやっていた種目を観戦すると、さまざまなテクニクや駆け引きがわかります。見方が深くなるから観戦に熱も入るし、何倍も楽しめるというわけです。

仲間や広々とした場所がないとできないスポーツは多いですが、一人でもできるジョギングやスポーツジム通いなどもあります。この秋、スポーツをやらなかった人も、体力増進やストレス解消のために始めてみてはいかがでしょうか。

「日遊協」で検索！

日遊協 ホームページ 更新情報

業界データ 随時更新中

「女性社員訪問」(株)千歳観光

日遊協 広報誌最新号

2015/10/23 日遊協 広報誌最新号

2015/10/23 日遊協 広報誌最新号

2015/10/21 日遊協 広報誌最新号